

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第15号
2011年8月10日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DDC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

反原発・反失業！ すべての怒りを11・6日比谷へ

国鉄1047名解雇撤回！ 非正規職撤廃！
たたかう労働組合の全国ネットワークをつくろう！
11・6全国労働者総決起集会 (11月6日 日比谷野音)



「国鉄闘争の終焉を悼む」

歴史に刻まれた国労本部の敵前逃亡の醜態

呼びかけ人・元国労九州本部書記長 手嶋浩一

闘いを放棄し、組合員を欺き、
だまし続けて、敵前逃亡生活25
年の醜態に6月24日、ようやく
幕引きをすることができた。そ
ろもも自らの雇用は、自ら
の力で闘い取るのではなく、人
の「ふんどし」で相撲を取ろう
とする魂胆が腐りきっているの
である。

非難している。
国労本部は、ここに至っても、
組合員をだまし、茶番の演技
を繰り返すのであるからあきれ
てしまう。「4・9和解」の時点
で、雇用のゼロ回答は了解済み
であったと言われても仕方ない
のである。その証拠は、国労自
らがJRに対して雇用要求闘争
はしないと、闘いを放棄し、一
年間、何もなかったのである
から、ゼロ回答は当然のことと
言わざるを得ないのである。

原告個々の人生を、すでに25
年間にわたり翻弄してきたのは
誰か。闘う意志を放棄した国労
本部自身ではなかったのか。さ
らに、へ膝を屈することを潔し
とせず、名譽ある撤退を選択す
る」と言う。政府を非難して、
雇用ゼロを一発で容認すること
が膝を屈することは言わない
のだろうか。名譽ある撤退とは
何をもって言うのか、まったく
理解できない。

8・30外注化阻止・非正規職撤廃！
JRの偽装請負を告発する大集会
日時 8月30日(火)
18時30分から
場所 錦糸町・すみだ産業会館
8階サンライズホール
主催 動労千葉

それは、ひとりの国鉄労働者に
止まらず、今後、日本の労働者
全員が、経営者の不当労働行為
を黙認せざるを得なくなること
であり、それは、奴隷化の道を
意味するものであり、断じて許
されるものではない。
日本の全労働者の奴隷化を阻
止するためにも、そして、新自
由主義社会のさらなる深化を阻
止するためにも、国鉄闘争の火
を消してはならないのである。
国鉄1047名闘争全国運動の
闘いに、日本の全労働者が決起
し、結集することを呼びかける
ものである。

被爆66年のヒロシマ大行動に1685人

集会には1954年にアメリカの水爆実験によりビキニ環礁で被爆した第五福竜丸乗組員の大石又七さんやアメリカの反戦の母・シンディー・シーハンさんも参加し、「すべての原発なくそう」の声が広島街に響き渡った。



関西生コン支部が7・17反弾圧集会

直後に13名全員の保釈かちとる

関西生コン支部などが7月17日、大阪市中之島先公園で
反弾圧集会を開催。約1000名が集まり、大阪府警本部前
までデモ行進を行った。22日には第2次関西生コン支部で不当
勾留されていた13名の仲間全員の保釈をかちとった。

それは、ひとりの国鉄労働者に
止まらず、今後、日本の労働者
全員が、経営者の不当労働行為
を黙認せざるを得なくなること
であり、それは、奴隷化の道を
意味するものであり、断じて許
されるものではない。
日本の全労働者の奴隷化を阻
止するためにも、そして、新自
由主義社会のさらなる深化を阻
止するためにも、国鉄闘争の火
を消してはならないのである。
国鉄1047名闘争全国運動の
闘いに、日本の全労働者が決起
し、結集することを呼びかける
ものである。

関西生コン支部、港合同、動労千葉の3
労組が11月6日に日比谷野音で労働者総決
起集会を開催することを決定しました。
それに先駆けて、動労千葉は8月30日
に「外注化阻止・非正規職撤廃・JRの偽
装請負を告発する大集会」を東京で開催し
ます(表面参照)。動労千葉・田中康宏委
員長の訴えを紹介します(7月29日に行わ
れた活動者会議での提起で
す)。

労働者を突き落としてい
く最大の攻撃は、民営化
外注化という形で非正規
職化攻撃です。公共部門で
やられているのは、全部民
営化攻撃でしょう。この民
営化攻撃というのは、ほぼ
100%外注化じゃないで
すか。現業部門を全部、民
間に委託していく形で民営
化していく。それで、膨大
な労働者がクビを切られ
非正規化されていく。

私は、JRでこの攻撃と
真っ向から立ち向かってい
きたいと思ってるんです。
これができたら日本の
労働運動は変わる気がする
からです。

10月1日から京葉車両セ
ンターの構内運搬業務の外
注化が狙われています。外
注化するには、外注化を
受ける裏切り者をつくらな
ければいけない。動労千葉
はこれを徹底的につぶす闘いに入っていま
す。「こんなことで、裏切り者になってい
いのか」と全部説得してまわった。そうし
たら、会社は資格を持ってない人間に声を
かけ始めた。60才を過ぎて、資格を取らせ
ようというんだよ。それで今日から、東労
組も国労も鉄産もいろいろいるんだけど、

動労千葉 外注化と真っ向勝負

11月労働者集会は何を目指すのか 全国の職場で闘いつくるため

全部説得しきる闘いに入っています。
もう一方では若い仲間に対して、「動労
千葉に入って外注化を止めよう」という
組織拡大闘争です。そして偽装請負の問題
も、8月末から9月にかけて煮詰めて、J
R本体と下請け会社の双方でストライキ
に入るつもりです。両方からストライキ
をやって絶対に潰してやろうと思っていま
す。

自分としては、こ
の闘いをやりきるこ
とで、11月労働者集会は
何を目指している集
会なのか実際の闘い
で示したい。

8月30日には、東京
すみだ産業会館で「外
注化阻止・非正規職
撤廃・JRの偽装請負
を告発する大集会」を
やって、その日の昼間
には、厚生労働省の記
者クラブで、「JRと
いう大企業が、これだ
け大規模かつ明白な偽
装請負を強行しようと
している」という記者
会見もやってね。そ
れまでは、労働局に
対しても、「偽装請負
を黙ってるのか」と徹
底的に追いつめる闘い
をやっておく。

とにかく、これ
をもって労働者が痛めつ
けられ、未来を奪われ
てきたんだから、動労千葉は小さな組合で
すけど、大勝負になるに決まってるん
ですよ。こういう闘いをやり抜いて、11月集
会というのはこういう闘いを全国、全産別、
全戦線をつくる闘いなんだということを目
分たちの闘いで示したいと思っています。

現場の怒りでクーデター大会を弾劾

7・28〜29 国労80回全国大会報告



7月28日〜29日、伊東市・ホ
テル聚楽で開催された国労第80
回全国大会は、民営化・新自
由主義反対闘争の終結を宣言し
て、解雇者を組合から放逐し、
JRに対して企業内労働組合を
宣誓する大会になった。冒頭の
委員長あいさつでは、連合への
すり寄りを懇願して、国鉄改革
完遂に協力することを明らかに
した。

世界大恐慌と3・11情勢のも
とでの大反動に対して、「共に
闘う国労の会」の現場組合員と
~~~~~  
組合員の大会傍聴も認めな  
い国労本部に対して国労組  
合員の怒りが爆発した(7  
月28日 静岡県伊東市)

静岡・神奈川の労働者が弾劾闘  
争を闘い抜いた。  
大会前日の27日にはJR伊東  
駅頭で代議員などにシラ配布や  
署名要請を展開、JR労働者か  
らも署名が寄せられた。28日と  
29日早朝には静岡県警と国労本  
部の結託でホテル聚楽敷地にも  
入れない体制が敷かれたが、ホ  
テル前を制圧して大宣言が闘わ  
れた。

全国から駆けつけた組合員  
は、国労本部の転落を激しく弾  
劾して「国労組合員の労働者魂  
はここにあり」という宣言をた  
たきつけた。JR青年労働者の  
怒りの決起の先頭に国労・動労  
千葉の青年がたつてJR体制を  
揺るがす情勢が切り開かれた。  
大会は前日の全国代表者会議  
でも方針が定まらず、すべての  
勢力が右往左往する中で開催さ  
れ、連合派は規約改悪の大反動  
を押し通した。革同・日本共産  
党は動揺の末、成田中央委員会

(\*)の屈服を再現した。  
しかし、大会には「解雇者の  
組合員資格を残す」趣旨の修正  
動議が東京や千葉など11名の代  
議員から出され、現場での攻防  
はこれからである。

第80回大会での国鉄改革完遂  
⇨連合完成の大反動の中で、大  
恐慌と3・11情勢に対応した闘  
う路線は明確になった。すべて  
の勢力が屈服と動揺を深める中  
で、国鉄闘争全国運動こそが時  
代に通用する闘いであることが  
明確になった。

青年の決起を先頭にして、国  
鉄労働運動のあらたな時代を切  
り拓こう。(国労新潟県支部執  
行委員・星野文男)

(\*) 成田中央委員会  
1949年8月、定員法  
反対闘争で解雇された国労  
の中闘17人らを排除して右  
派執行部が召集した中央委  
員会。

## 東京東部の会結成1周年拡大例会

### 「青年労働者を会員に」

国鉄闘争全国運動・東部の会  
の結成1周年と7月24日の動  
労千葉を支援する会総会をふま  
え、会員拡大に向けて今後どの  
ように運動をつくりだすかとい  
う視点で原稿依頼が事務局から  
ありました。

会員拡大は普遍的課題であ  
り、そう簡単に答えが出るテー  
マではありませんが、7月29日  
に行われた東京東部の会拡大例  
会をふまえ、私の意見を少し述  
べさせていただきます。

東部の会は昨年7月に結成さ  
れ、ちょうど1年を迎えました。  
この6月が1047名闘争をめ  
ぐって重大な転機を迎える段階  
に入ったとの認識のもとで、東  
部の会として、国鉄闘争をめぐ  
る現状をきちんと掌握し、現時  
点でどのように運動を総括する  
のか議論しようということ为例  
会を拡大で行いました。

この日は国労第80回大会の最  
終日でもあり、国労秋田闘争団  
の小玉忠憲さんを講師として招  
きました。

き、小玉さんの思いのたけを話  
してもらったことを通して、「東  
部の会」の拡大・強化に結び付  
けたいと考えました。

通常の例会は毎月1回、共同  
代表と事務局を中心に10名ほど  
で行われてきましたが、拡大例  
会はまだ会員ではない非正規雇  
用の青年労働者、国鉄闘争を24  
年間闘ってきた東部地域で闘う  
仲間を合わせて約30名が参加し  
ました。

小玉さんの話で私が一番印象  
に残ったのは、秋田の非正規雇  
用の青年労働者と結びつき、オ  
ルグをしている様子を話してく  
れたことです。その話を聞いた  
青年労働者から質問、共感の意  
見が出され議論はそこに集中し  
ました。

第二は、地域で国鉄闘争を  
闘ってきた多くの労働者が今回  
の「闘争終結宣言」に怒りをもっ  
ていることです。共闘会議が作  
成した分厚い「報告集」が、か  
なり早い段階で作成されている  
事実が暴露され、そういう共闘  
会議の在り方をめぐって怒りの  
発言がありました。

第三は、小玉さんは、国鉄  
分制・民営化は原発の非正規労  
働を全面化するために行われた

側面があると述べました。7次  
にも及ぶ重層的な下請けの構造  
のもとで、非正規の青年労働者  
の被曝労働を前提にして成り  
立ってきた原発を許さない闘  
いにとっても国鉄1047名  
闘争は決定的です。逆にいえば  
1047名解雇撤回闘争を放棄  
して反原発の闘いもあり得ない  
ということですよ。

反原発の闘いと反失業・非  
正規雇用を許さない闘い、国鉄  
1047名の解雇撤回闘争は一  
体であり、その闘いの中に青年  
労働者を全国運動の会員に拡大  
していく道があると確信しまし  
た。(東部の会事務局次長・小  
泉義秀)